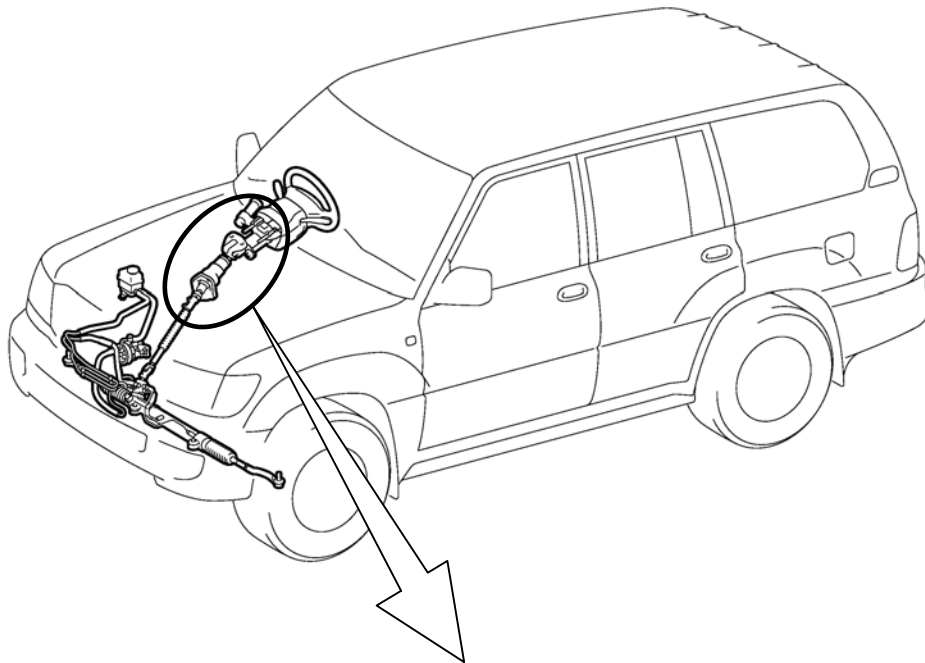
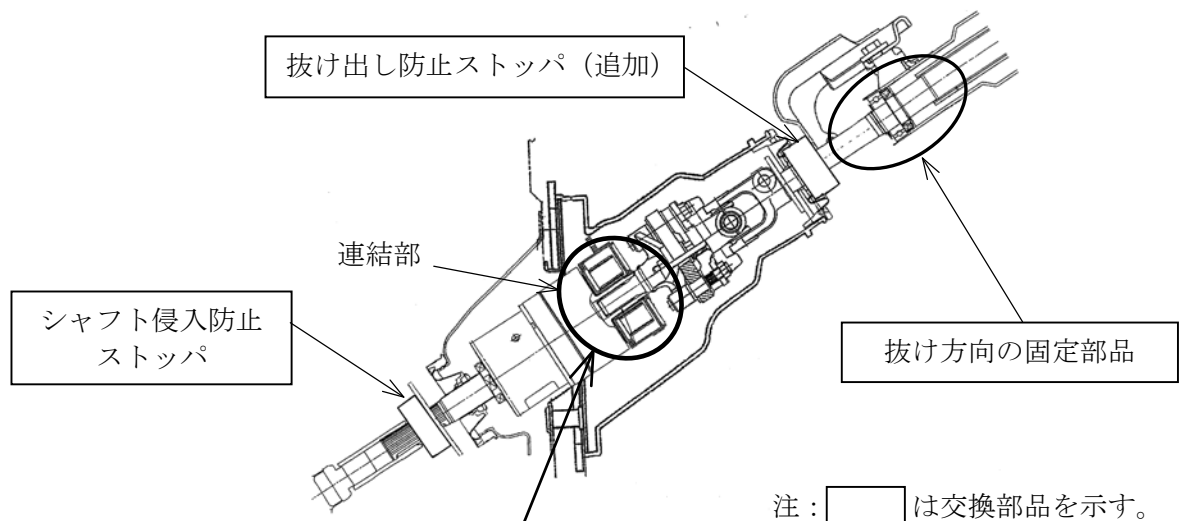


改善箇所説明図



ステアリングシャフト構造図



基準不適合発生箇所

かじ取り装置において、ステアリングシャフト連結部の構造が不適切なため、大きな段差乗り越え時にシャフトの抜け方向の固定部品が外れることがある。その状態で、ハンドルを一杯に切る操作を繰り返すとシャフトが抜け出して、かじ取り操作ができなくなるおそれがある。

改善の内容

全車両、抜け方向の固定部品を対策品に変更する。あわせて、抜け出し防止ストッパを追加するとともに、シャフト侵入防止ストッパを対策品に変更する。

識別：改善済車両にはエンジンルーム内のカウルパネルに向かって左端に黄色ペイントを塗布する。